

1. 200m 2. 500m 3. 2000m 4. 4000m

1. 森林が多すぎるため、雨水が地表付近に留まりやすい。
2. 砂地が多いため、雨水とともに大量の土砂が河川に流れ込みやすい。
3. ダムが多すぎるため、雨水が地下へ流れる経路が遮断されている。
4. 地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が染み込みにくい。

1. 赤道付近から移動してくる高気圧が、一年を通じてこの地域を覆い続けるため。
2. 寒流の影響により海水温が低く、上昇気流が発生しにくいいため。
3. 内海である瀬戸内海では水蒸気の蒸発量が極端に少なく、雲が形成されないため。
4. 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気を遮るため。

1. 火山周辺は噴火の危険性が高いため、居住や観光開発は法律で一律に禁止されており、産業利用は行われていない。
2. 火山活動によって形成されたカルデラや火山湖などの地形が、国立公園などに指定され、地域の観光産業の核となっている。
3. 火山地帯は冷涼な気候であり、広大な原野を利用した大規模な綿花の栽培が、日本の伝統的な繊維工業を支えている。
4. 火山から噴出する火山灰は、最先端の電子部品の主要な原材料として活用されており、日本の輸出額の大部分を占めている。

1. 等深線 2. 等溫線 3. 計曲線 4. 主曲線

1. 台地 — 地面が周囲より一段高い
ため、大規模な工業団地に利用され
る

2. 三角州 — 栄養分が豊富な細かい
土砂が積もるため、水田に利用され
る

3. 扇状地 — 土砂の粒が大きく水は
けが良いため、果樹園に利用される

4. 自然堤防 — 川沿いに土砂が盛り
上がっているため、大規模な牧場に
利用される

1. 中央構造線 2. 棚倉構造線 3. 糸魚川・静岡構造線 4. 日本海東縁変動帯

1. フォッサマグナ 2. シベリア気団 3. 中央構造線 4. 環太平洋造山帯

1. 太平洋側の気候であり、夏は湿った南東の季節風の影響を受け、冬は北西の季節風が山脈に遮られるため乾燥した晴天が続く。

2. 瀬戸内の気候であり、北側の中国山地と南側の四国山地が季節風を遮るため、年間を通じて温暖で降水量が少ない。

3. 中央高地の気候であり、標高が高いため年間を通じて気温が低く、季節風の影響を直接受けにくい。年間降水量が少ない。

4. 日本海側の気候であり、冬は湿った北西の季節風が山脈に突き当たるため雪が多く、夏はフェーン現象により気温が上昇する。

1. 土砂が下流へ流出するのを防ぐため、上流の谷間にコンクリート製の砂防ダムを建設する
2. 住宅地の周囲に高い盛り土をした輪中を形成し、集落全体を浸水から守る
3. 地下に巨大な貯水槽や放水路を整備し、河川の氾濫を防ぐために雨水を一時的に貯留する
4. 海水の逆流を防ぐために河口付近に水門を設置し、常に排水ポンプで海へ水を汲み出す

1. 赤道付近で発生した湿った空気が、冬の時期に日本海側の低気圧に向かって集中的に流れ込み、停滞するため。
2. 南東から吹く暖かく湿った季節風が、日本海を流れる寒流の影響で急激に冷やされ、大量の雲を発生させるため。
3. 日本海を流れる暖流によって海水温が上昇し、一年を通じて上昇気流が発生しやすくなるため。
4. 大陸からの冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇気流となるため。

1. スマートインターチェンジ 2. モーダルシフト 3. ダブルネットワーク 4. ハブ・アンド・スポーク

1. 海岸段丘 2. リアス海岸 3. 砂州 4. 干拓地

答え合わせ・解説

問1	答え 3 2000m	2万5千分の1地形図では、図上の1cmが実際の25万cm（250m）に相当します。図上の距離が8cmである場合、250mを8倍することで実際の距離を算出できるため、計算式は $250 \times 8 = 2000$ となり、実際の距離は2000m（2km）となります。
問2	答え 4 地面がアスファルトなどで覆われているため、雨水が染み込みにくい。	都市型水害のメカニズムは、地表面の性質が変化したことにあります。本来、土の地面であれば雨水は地下へと浸透していきますが、都市部ではコンクリートやアスファルトによって地面が蓋をされたような状態（不浸透域の拡大）になっています。このため、行き場を失った雨水が地表を流れ、一気に低い場所や排水施設に押し寄せることになります。
問3	答え 4 北側の中国山地と南側の四国山地が、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気を遮るため。	瀬戸内の気候は、北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれていることが最大の特徴です。夏は太平洋側から吹く南東の季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海側から吹く北西の季節風が中国山地に遮られます。それぞれの風が山地を越える際に水分を落とすため、中間に位置する瀬戸内地域は一年を通して降水量が少なく、乾燥した晴天の日が多くなります。
問4	答え 2 火山活動によって形成されたカルデラや火山湖などの地形が、国立公園などに指定され、地域の観光産業の核となっている。	火山の噴火によって形成された凹地であるカルデラ（阿蘇山など）や、そこに水が溜まってできた火山湖（十和田湖など）は、日本を代表する景勝地となっています。これらは自然公園法に基づき国立公園などに指定され、観光資源として地域の経済を潤しています。火山は単なる脅威ではなく、その土地独自の産業を育む基盤となっています。
問5	答え 4 主曲線	地形図の等高線には、標高を示すための基本となる「主曲線」と、5本ごとに太線で描かれ数値を読み取りやすくする「計曲線」があります。2万5千分の1地形図の場合、主曲線は10m間隔、計曲線は50m間隔で引かれています。これらを正しく判別することが、地形図から正確な標高差を読み取るための第一歩となります。
問6	答え 3 扇状地 ― 土砂の粒が大きく水はけが良いため、果樹園に利用される	山地から平地への出口付近では、川の流れが急に緩やかになるため、運ばれてきた土砂のうち粒の大きいものが中心となって堆積します。このようにしてできた扇状地は、土砂の隙間水が通り抜けやすい「水はけが良い」という性質を持つため、稲作よりも果樹栽培に適しています。特に山梨盆地などの扇状地では、ブドウやモモの栽培が盛んです。
問7	答え 3 糸魚川・静岡構造線	フォッサマグナは「面」としての広がりを持つ地域を指すのに対し、その西側の境界を成す「線」としての断層帯は糸魚川・静岡構造線と呼ばれます。これに対し、中央構造線は関東から九州まで日本列島を縦断する別の巨大な断層であり、混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 1 フォッサマグナ	日本列島が形成される過程で生じた巨大な溝は、ラテン語で「大きな溝」を意味する名称で呼ばれています。新潟県糸魚川市から静岡県静岡市付近を結ぶラインは、この地帯の西側の縁にあたり、日本の地質を東側と西側に大きく分ける重要な境界線となっています。
問9	答え 1 太平洋側の気候であり、夏は湿った南東の季節風の影響を受け、冬は北西の季節風が山脈に遮られるため乾燥した晴天が続く。	東京に代表される太平洋側の気候は、夏から秋にかけて降水量が多くなるのが特徴です。夏は小笠原気圧団から吹き出す南東の季節風が湿気をもたらし、秋には台風や秋雨前線の影響で降水量が最大になります。一方、冬は大陸からの北西の季節風が奥羽山脈や三国山脈などの山々に遮られ、日本海側に雪を降らせた後の乾いた空気が吹き下ろすため、晴天の日が多くなり乾燥します。これにより、1月の平均気温は5度前後、8月は25度以上の熱帯夜を含む高温となり、冬の降水量が極端に少ないというグラフの推移を示します。
問10	答え 3 地下に巨大な貯水槽や放水路を整備し、河川の氾濫を防ぐために雨水を一時的に貯留する	都市部では建物の密度が高いため、地上に広大な遊水地を作ることが困難です。そのため、公園や道路の地下に大規模な地下施設（地下調節池や地下放水路）を建設する対策が取られています。これらは大雨の際に、溢れそうになった河川の水を一時的に引き受け、ピークが過ぎてから徐々に排水することで被害を軽減する役割を担っています。
問11	答え 4 大陸からの冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇気流となるため。	冬の北西の季節風は本来乾燥していますが、比較的暖かい日本海の上を通過する際に水蒸気を補給し、湿った空気に変化します。この空気が日本列島の中央を走る高い山脈にぶつかり上昇することで雪雲が発達し、日本海側に雪や雨を降らせます。このとき、山脈を越えた風は乾燥し、太平洋側には乾いた「からっ風」をもたらします。
問12	答え 3 ダブルネットワーク	「ダブルネットワーク」は、災害時や事故などの緊急事態において、特定の路線が通行不能になった際に他の路線で機能を代替できるよう、並行する複数の交通路を整備することを指します。これは「交通の多重化」とも呼ばれ、日本の主要な産業を支える物流を止めないための重要な仕組みです。他の選択肢のうち、モーダルシフトは環境負荷低減のために輸送手段を転換すること、ハブ・アンド・スポークは拠点を軸とした輸送網の形態、スマートインターチェンジはETC専用の簡易的な接続施設を指すため、この仕組みの説明としては不適切です。
問13	答え 2 リアス海岸	起伏に富んだ山地が沈水（地盤の沈下または海面の上昇）することによって生じる地形です。スペイン北西部のリアス・バイシャス海岸が語源となっており、日本では岩手県の三陸海岸南部や三重県の志摩半島、福井県の若狭湾周辺などに典型的な地形が見られます。非常に入り組んだ海岸線を持つのが最大の特徴です。